

新緑

さわやかな風とみずみずしい緑が映える、新緑の美しいシーズンを迎えました。勢いよく伸びる草木の新芽に、生命の力強さを感じます。

ミズキ(水木)



水辺に多く生育する落葉高木で、高さ10～20mになります。全国どこでも見られるので、植物の季節を調べるときの指標植物になります。実は鳥に食べられ、種子が未消化のまま排出されて、分布を広げます。樹液が多く、早春に枝を切ると水が滴り落ちることから、水木(ミズキ)と名付けられました。

アカメガシワ



日本の在来種で、種から自然に育つ実生木です。春に赤みを帯びた若葉が出ることから、「アカメ(赤芽)」と名付けられました。成長がとても早く、荒れた土地にもいち早く根付くため、「パイオニア植物」として森の再生にも役立ちます。夏には白い花が咲き、秋には黒い実をつけるため、虫や鳥たちにも親しまれるたくましい木です。



#昆虫図鑑、#野鳥図鑑#花と植物図鑑etc.. CESS研究員等が撮影した美しい写真をご覧ください。



黄色の花といきもの

この時期は黄色の花が目立ちます。昆虫は黄色の色に敏感といわれています。昆虫に花粉を運んでもらうことで受粉する虫媒花の花は、色や形、香りや蜜で昆虫を誘います。人には見えない紫外線が昆虫には暗く見えるため、花びらのつけ根に向かってだんだん色を濃くし、中心に蜜があることを教えます(ネクターガイドや蜜標と言います)。チョウは、蜜に誘われる昆虫の代表格です。

カタバミ



ハート形の葉っぱが特徴の小さな植物です。黄色い花を咲かせ、夜になると葉っぱが閉じたり、雨の日にはしぼんだりする面白い性質があります。

ツバメシジミ



よく見かける水色の小さなシジミチョウの一種です。後翅にある尾状突起がツバメの尾のように見えることが名前の由来です。

ヤマトシジミ



幼虫の餌となるカタバミが生息していれば、どこでも見られるシジミチョウの一種です。オスの翅の表側は灰色の地に青色が入り、メスは黒っぽい色をしています。